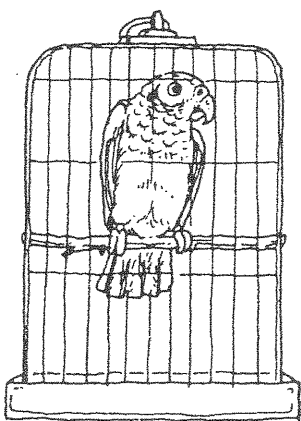


◇ 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

金持ちは、おじいさんに言いました。「オウムを見ているんだが、なかなかかしこそうなオウムだね。」すると、オウムが、「それにちがいない。」と言いました。「これは、すばらしいオウムだ。」金持ちは、たいそう感心して、このオウムをゆずってくれ、とたのみました。「いいえ、おゆずりするわけにはまいりません。」「お金は、いくらでも出す。ぜひ、ゆずってくれ。」金持ちは、おじいさんにお金をたくさんはらって、むりにオウムをゆずってもらいました。

金持ちは、自分の部屋に、オウムのかごをつるしました。

ところが、オウムは、毎日、ただ、「それにちがいない。」と言うだけで、そのほかのことばはちつとも言いません。金持ちはがっかりして、「わたしは、なぜ、もっとよくたしかめてから、買わなかったのだろう。わたしは、ずいぶんあわて者だ。」と、ひとりごとを言いました。すると、オウムが、「それにちがいない。」と、大きな声で言いました。



問一 「金持ち」がオウムをゆずってほしいと思ったのはなぜですか。もっともふさわしいものを次の

ア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア とても高価なオウムなので、金持ちの自分が買ったほうがよいと思ったから。

イ かしこそうなオウムだと言ったら、「それにちがいない。」と返事をしたから。

ウ 金持ちはひとりぼっちだったので、話し相手になるオウムがほしかったから。

エ たいへん美しいオウムだったので、一目でオウムを気に入ってしまったから。

問二 このオウムが知っていることばは何ですか。文章中からぬき出して答えなさい。

問三 「おじいさん」がこのオウムを「金持ち」にすぐにはゆずろうとしなかったことがわかる部分を、会話文以外からさがし、ぬき出して答えなさい。

--

問四 「金持ち」のオウムにたいする考えは、文章中のところがとうことばの前と後では変わっています。前の考えと後の考えを、それぞれ次のア～オの中から一つずつ選び、記号で答えなさい。

- ア 見た目もきれいで、美しい声で鳴くめずらしいオウムだ。

イ 大事にされているので、よくなついてかわいいオウムだ。

ウ 一つのことばだけしか話せない、ありふれたオウムだ。

エ かしこくて、人のことばがわかるすばらしいオウムだ。

オ いつも人の悪口ばかり言う、かわいげのないオウムだ。
- 前

後

問五 この話のいちばんおもしろいところを説明した次の文の空らんにあてはまることばを、文章からぬき出して答えなさい。

-
- だと、金持ちが

を言ったとき、オウムが「それにちがいない。」と

大きな声で言ったところ。

問六 オウムが人のことばをおぼえてくり返すことから、「人の言ったことばをそのままくり返す」という意味のことばができました。次の○に入るひらがなを考えて答えなさい。

おうむ

新小4 無料体験学習プリント ②

氏名

◇ 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

ヒマラヤの山々と、それにつづく高原のあたりは、^{せかい}世界の屋根といわれるような高い^{ところ}所で、年じゅう雪と氷に^{こおり}とざされています。その高原のふもとのある村に、むかし、カリムというわか者が^す住んでいました。カリムは、サフランの花がさく春から夏^{はたけ}いっぱい、畑ではたらきました。けれども、雪の早いこの地方では、秋が来ると、もう雪がふって、畑へ出ることはできません。カリムは、長い冬ごもりの間、いつも、とくいなふえをふいていました。ある年の雪どけのころ、カリムは、ひさしぶりに畑に出て、たがやしていました。土はまだこおっていて、石のようにかたく、カッチン、カッチンとくわがはねかえります。カリムがあせを^{なが}流して土をほっていると、ぽっかり土の中にあなが^あ開いていました。よく見ると、あなの中に、何か動^{うご}いているものがありました。「おや。いったい、何だろう。」と、つまみ上げて見ると、それはりゅうの子でした。

問一 この物語の主人公はだれですか。文章中からぬき出して答えなさい。

問二 主人公はどこに住んでいますか。文章中のことばを使ってまとめて答えなさい。

問三 「夏いっぱい」とはどんな意味ですか。もっともふさわしいものを次のア～エの中から一つ選び、
記号で答えなさい。

- ア 夏のはじめまで イ 夏のとちゅうまで
ウ 夏の終わりまで エ 秋のはじめまで

--

問四 「雪の早い」とは、ここではどういうことですか。もっともふさわしいものを次のア～エの中か
ら一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 雪がとけるのがあつという間であるということ。
イ 雪がふりはじめるのが秋のはじめであること。
ウ 雪がふるのをまっている人がたくさんいること。
エ 雪がふったほうが人々にとって都合がいいこと。

--

問五 土がこおっている様子がよくわかる部分を文章中からぬき出して答えなさい。

--

問六 いっしょうけんめいはたらいていることがよくわかるカリムの様子を、文章中から六文字ちょう
どでぬき出して答えなさい。（や。はふくみません。）

問七 カリムのとくいなものは何ですか。

--

問八 カリムは穴の中で何を見つけましたか。

--

新小4 無料体験学習プリント ①

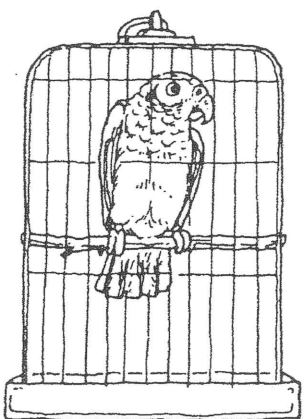
氏名

◇ 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

金持ちは、おじいさんに言いました。「オウムを見ているんだが、なかなかかしこそうなオウムだね。」すると、オウムが、「それにちがいない。」と言いました。「これは、すばらしいオウムだ。」金持ちは、たいそう感心して、このオウムをゆずってくれ、とたのみました。「いいえ、おゆずりするわけにはまいりません。」「お金は、いくらでも出す。ぜひ、ゆずってくれ。」金持ちは、おじいさんにお金をたくさんはらって、むりにオウムをゆずってもらいました。

金持ちは、自分の部屋に、オウムのかごをつるしました。

ところが、オウムは、毎日、ただ、「それにちがいない。」と言うだけで、そのほかのことばはちつとも言いません。金持ちはがっかりして、「わたしは、なぜ、もっとよくたしかめてから、買わなかったのだろう。わたしは、ずいぶんあわて者だ。」と、ひとりごとを言いました。すると、オウムが、「それにちがいない。」と、大きな声で言いました。



問一 「金持ち」がオウムをゆずってほしいと思ったのはなぜですか。もっともふさわしいものを次の

ア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア とても高価なオウムなので、金持ちの自分が買ったほうがよいと思ったから。

イ かしこそうなオウムだと言ったら、「それにちがいない。」と返事をしたから。

ウ 金持ちはひとりぼっちだったので、話し相手になるオウムがほしかったから。

エ たいへん美しいオウムだったので、一目でオウムを気に入ってしまったから。

イ

問二 このオウムが知っていることばは何ですか。文章中からぬき出して答えなさい。

「それにちがいない。」

問三 「おじいさん」がこのオウムを「金持ち」にすぐにはゆずろうとしなかったことがわかる部分を、会話文以外からさがし、ぬき出して答えなさい。

金持ちは、おじいさんにお金をたくさんはら
て、むりにオウムをゆずってもらいました。

問四 「金持ち」のオウムにたいする考えは、文章中のところがということばの前と後では変わって
います。前の考えと後の考えを、それぞれ次のア～オの中から一つずつ選び、記号で答えなさい。

- | ア | イ | ウ | エ | オ |
|----------------------------|----------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|
| 見た目もきれいで、美しい声で鳴くめずらしいオウムだ。 | 大事にされているので、よくなついてかわいいオウムだ。 | 一つのことばだけしか話せない、ありふれたオウムだ。 | かしこくて、人のことばがわかるすばらしいオウムだ。 | いつも人の悪口ばかり言う、かわいげのないオウムだ。 |
| 前 | 後 | | | |
| エ | ウ | | | |

問五 この話のいちばんおもしろいところを説明した次の文の空らんにあてはまることばを、文章か
らぬき出して答えなさい。

よくたしかめずにオウムを買った自分は
あと、金持ちが

ひとりごと
を言ったとき、オウムが「それにちがいない。」と

大きな声で言ったところ。

問六 オウムが人のことばをおぼえてくり返すことから、「人の言ったことばをそのままくり返す」と
いう意味のことばができました。次の○に入るひらがなを考えて答えなさい。

おうむ
が え し

新小4 無料体験学習プリント ②

氏名

◇ 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

ヒマラヤの山々と、それにつづく高原のあたりは、^{せかい}世界の屋根といわれるような高い^{ところ}所で、年じゅう雪と氷にとざされています。その高原のふもとのある村に、むかし、カリムというわか者が^す住んでいました。カリムは、サフランの花がさく春から夏^{はたけ}いっぱい、畑ではたらきました。けれども、雪の早いこの地方では、秋が来ると、もう雪がふって、畑へ出ることはできません。カリムは、長い冬ごもりの間、いつも、とくいなふえをふいていました。ある年の雪どけのころ、カリムは、ひさしぶりに畑に出て、たがやしていました。土はまだこおっていて、石のようにかたく、カッチン、カッチンとくわがはねかえります。カリムがあせを^{なが}流して土をほっていると、ぽっかり土の中にあな^あが開いていました。よく見ると、あなの中に、何か動^{うご}いているものがありました。「おや。いったい、何だろう。」と、つまみ上げて見ると、それはりゅうの子でした。

問一 この物語の主人公はだれですか。文章中からぬき出して答えなさい。

カリム

問二 主人公はどこに住んでいますか。文章中のことばを使ってまとめて答えなさい。

ヒマラヤの山々につづく高原の
ふもとのある村。

問三 「夏いっぱい」とはどんな意味ですか。もつともふさわしいものを次のア～エの中から一つ選び、
記号で答えなさい。

ア 夏のはじめまで
イ 夏のとちゅうまで
エ 秋のはじめまで
ウ 夏の終わりまで

問四 「雪の早い」とは、ここではどういうことですか。もつともふさわしいものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　雪がとけるのがあつという間であるということ。

イ
雪がふりはじめるのが秋のはじめであること。

雪がふるのをまっている人がたくさんいること。

工雪がふったほうが人々にとって都合がいいこと。

問五 土がこおっている部分が文章中からぬき出して答えなさい。

石のようにかたく、カッ
チン、カッ
チンと
くわがはねかえります。

問六 いっしょうけんめいはたらいていることがよくわかるカリムの様子を、文章中から六文字ちょうどでぬき出して答えなさい。（へや。はふくみません。）

あ	せ	を	流	し	て
---	---	---	---	---	---

問七 カリムのとくいなものは何ですか。

ふん

問八 カリムは穴の中で何を見つけましたか。

り
う
の
子

()に読み方を書き入れなさい。

- ① わたしたちの組。
② 親指^{ゆび}のけが。
③ しずかな春の海。
④ 馬の絵。
⑤ ピストルの合図。
⑥ 父の考え。
⑦ 夏の白い雲。
⑧ 元気な子ども。

- ⑨ 箱^{はこ}の内^{うち}がわ。
⑩ 近くの池。
⑪ パンをつくる工場。
⑫ 細い糸。
⑬ 鳥の羽。
⑭ 古いお寺。
⑮ 弓と矢。
⑯ 冬の寒い^{さむい}夜。
⑰ 新しい家。

- ⑱ 星の数。
⑲ 東京のお友^{とも}だち。
⑳ 丸い顔。
㉑ 家の前の道。
㉒ 月曜日^{げつようじ}の午後。
㉓ 強い風。
㉔ 黒い頭の毛。
㉕ 船の形。
㉖ 五才^{ごさい}の弟。

□に漢字を書き入れなさい。

①

の
勉強

②

あか
るい
きようしつ

③

五
円
で
買う。

④

三
の
形。

⑤

じ
面
につもった
ゆき

⑥

くずれかかった
いわ

⑦

あね
と
いもうと

⑧

にし
の
ほう

⑨

き
いろ
の
くび
かざり。

⑩

こころ
に
おも
う
こと。

⑪

いま
き
いた
はなし

⑫

こう
えん
で
遊ぶ。

⑬

すべり
だい
の
上。

⑭

とう
お
さんの
めがね。

⑮

よく
き
れる
かたな

⑯

しゅう
かん
の
お休み。

⑰

ま
曲
が
った
せん

⑱

ふか
い
たに

⑲

かあ
お
さんの
かさ。

⑳

こもり
子守
うた

㉑

し
らない
おじさん。

㉒

は
れた
あき
の
空。

㉓

おな
じ
たか
さ。

㉔

こく
ご
の
じ
かん

㉕

がっ
こう
の
もん

㉖

まさ子さんの
につ
き

㉗

もらった
が
よう
し

㉘

しゃ
かい
か
の
本。

()に読み方を書き入れなさい。

① わたしたちの組。(くみ)

② 親指のけが。(おや)

③ しずかな春の海。(はる)(うみ)

④ 馬の絵。(うま)(え)

⑤ ピストルの合図。(あいず)

⑥ 父の考え。(ちち)(かんが)

⑦ 夏の白い雲。(なつ)(くも)

⑧ 元気な子ども。(げんき)

⑨ 箱の内がわ。(はこ)(うち)

⑩ 近くの池。(ちか)(いけ)

⑪ パンをつくる工場。(ぱん)(こうじょう)

⑫ 細い糸。(ほそ)(いと)

⑬ 鳥の羽。(とり)(はね)

⑭ 古いお寺。(ふる)(てら)

⑮ 弓と矢。(ゆみ)(や)

⑯ 冬の寒い夜。(ふゆ)(よる)

⑰ 新しい家。(あたらしい)(いえ)

⑱ 星の数。(ほし)(かず)

⑲ 東京のお友だち。(とうきょう)(とも)

⑳ 丸い顔。(まる)(かお)

㉑ 家の前の道。(まへ)(みち)

㉒ 月曜日の午後。(げつようび)(ごご)

㉓ 強い風。(つよ)(かぜ)

㉔ 黒い頭の毛。(くろ)(あたま)(け)

㉕ 船の形。(ふね)(かたち)

㉖ 五才の弟。(さい)(おとうと)

□に漢字を書き入れなさい。

① 理科の勉強。

② 明るい教室。

③ 五万円で買う。

④ 三角の形。

⑤ 地面につもった雪。

⑥ くずれかかった岩。

⑦ 姉と妹。

⑧ 西の方。

⑨ 黄色の首かざり。

⑩ 心に思うこと。

⑪ 今、聞いた話。

⑫ 公園で遊ぶ。

⑬ すべり台の上。

⑭ お父さんのめがね。

⑮ よく切れる刀。

⑯ 三週間のお休み。

⑰ 曲がった線。

⑱ 深い谷。

⑲ お母さんのかさ。

⑳ 子守歌。

㉑ 知らないおじさん。

㉒ 晴れた秋の空。

㉓ 同じ高さ。

㉔ 国語の時間。

㉕ 学校の門。

㉖ まさ子さんの日記。

㉗ もらった画用紙。

㉘ 社会科の本。